【経済部会】

発　　言　　者	審議内容　（発言内容、審議経過、結論等）
白石委員	・「安全安心ネットワーク。」 　消費生活の観点から。一人暮らしの老人ばかりではなく、消費被害は各世代に及んでいる。
城委員	・「企業が伸びる町」農商工業の活性化、充実した起業支援） ・「自然豊かな町」（山林を中心とした自然環境の保全） ・「行ってみたい町」（美幌峠を補完する観光スポットや娯楽施設の設置） ・「活気ある心豊かな町」（他町村との交流・提携） ・「働きやすい町」（多岐にわたる業種と求人～雇用創出） ・「美味しい町」（安全・安心で新鮮な農産物や名産品の提供） ・「優しい町」（働く男性・働く女性の環境整備）
信太委員	・「循環バスの利便性向上」 まちづくり白書を見てみると、生活の足としての循環バスの利便性向上についての意見が多い。（土日の不便、高校生、高齢者、ＪＲとの連携など。）コースが確保されれば、観光にも効果がある。
佐藤委員	・「豊かな自然を活かす。」「創意工夫で豊かな町。」 　将来につなげる、次の５年がその次の１０年を創造するような年にする必要がある。 　また、各々の創意工夫でクラスターを形成していくのが理想。
阿閉委員	・「地産地消が出来るまち。」 　インターネットの発達や交通アクセスの良さなどを利用して活性化を図ることが出来るのではないか。商店街の伸び悩み、地元にお金が落ちないなどの課題がある。地元に還元できるようなまちに。
中川委員	・「異業種交流」「人の輪」 　アイディアが広がり、経済活動が発展する。
広島部長	・「まわす」人もまわさなければならない。モノもまわさなければならない。 ・「つなげる」人と人をつなげる、人とモノとをつなげる。自然と何かをつなげる。 ・「地方との差別化」地方の機能を理解した上での産業発展を目指す。 ・「競う」産業活性化に欠かせない要素。
漢字一字】	「活」…２票の他、「豊」「民」「動」「共」「生」「実」「命」「伸」が候補として提出され、「活」に決定。 「活」は活力のあるまちづくりのイメージの他、新鮮なイメージ、また、字は違うが、まちにカツ（活）を入れ元気づける、というイメージもある。